



主な内容

- 1~3……市民広報特派員レポート
- 3……親子すくすく行事、ADSホール催物、国津の杜の行事
- 4……年金通信、第5回子ども伝統芸能祭りを開催



テーマ

# バリっ子給食を考える!

市民広報  
特派員  
レポート

リポーター

市民広報特派員  
小田 俊朗さん  
(安部田)



「子どもは、名張の宝」です。子どもたちが「食」について、きちんと理解することはとても大事なことです。同時にそれは、名張の「農業」を理解することにもつながっていくと思います。

昨年4月に、「名張市ばりばり食育条例」が施行され、市は、市民と事業者などと協働で食育と地産地消に基づく具体的な取組みが求められています。

そうした取組みの先駆けとして、平成17年4月から市内全小中学校でスタートした「ふるさと名張バリっ子給食の日」。名産産食材を使った献立で、子どもたちに「食への関心と地域への愛着」を育てる食育、地産地消の取組みです。

今回、この「バリっ子給食」が始まり10年が経過した中、子どもたちの食への理解や、現場で関わる給食調理員、栄養士、生産農家、農協の皆さんの苦勞や思いなどを取材しました。



平成26年12月12日のバリっ子給食

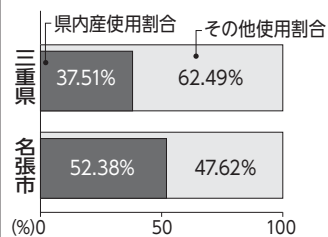
## 地産地消を推進し、食育へつなげる学校給食

学校給食は、子どもの心身の健全な発育にとって重要な成長期に、バランスの取れた食事を提供することで、健康の増進、体力の向上を図ることを目的としています。さらに、正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身に付けるなど、教育的狙いもあります。また、学校給食は、食に関する「生きた教材」です。季節感や食材本来の味、食文化の継承などを考えた献立作りには、地元で採れる農産物を活用した地産地消が欠かせないものだと考えます。

毎月給食献立は、教育委員会で統一献立を作成。その中で、基本月2回、名張で採れる旬の食材を使った「バリっ子給食」や、県内産食材を使う「みえ地物一番の日」を設け、積極的に地元産や県内産食材を使った献立を取り入れています。地元産の食材を使った給食には、「新鮮で安全な旬の食材を食べられる」といった面や「地元の農業振興が図れる」といったことなど、さまざまなメリットがあります。

一方で、食材の規格がバラバラで調理に手間がかかったり、地元産の食材を同じ日に大量に調達しなければならなかったり課題があります。そうした課題に日々取り組んでいる現場の皆さんの声を聞きました。

### 平成26年地場産物活用割合



左のグラフは、学校給食に使用される食材のうち、県内産食材数の平成26年活用割合の調査資料(6月、11月のある5日間に使用された食材数が対象)です。県内産食材数の使用割合は、県全体では37.51%ですが、市では、52.38%です。県全体と比較すると、14.87ポイント上回っています。

# 現場の声。

**学校**  
School



今日は バリっ子きょう食です!

いただきます!



給食調理員や給食担当の先生に、苦労や思いなどを聞きました。

**野菜は3度洗い、  
だしも一から手作り**で

今回の取材では、市内14校ある小学校のうち、5校を訪問。給食調理員や給食担当の先生に話を聞きました。

給食の統一献立は、給食のある1カ月前にできます。その献立を基に、各学校では、必要な食材などを担当者が手配。名張産を使うバリっ子給食以外の日も、できる限り地元産の食材を使うように、近くの農家や農協などに発注するそうです。

給食調理員は、下ごしらえから給食時間までに間に合うようてんこ舞い。「遅れるわけにはいきませ

地元産の食材を取り入れることで、子どもたちにとって、給食を身近に感じてもらい、野菜などの旬や、どのように育てられたものかを知るきっかけになります。

そして、子どもたちが、地元産の食材を知る、考えることで、地域への愛着にもつながると思います。



梅が丘小学校 栄養教諭 佐藤 史野 さん

栄養教諭は、市内の小学校に3人配置。4~5校を担当して、食育の授業などを行っています。

んから」と、給食調理員の皆さんは話します。野菜などは3度洗いを徹底し、汚れなどを取り除きま

す。また、子どもたちに本物の味を知ってもらいたいと、5年程前からだしやカレーなどのルーを全て一から手作り。ところが家庭では、市販のだしやルーを使っているからなのか、「家の味と違う」と言われることもあったそうです。

給食を残さず食べてほしいと、調理にも工夫。野菜は、栄養価や甘味が増すようにゆでずに蒸すこともあります。10年前に比べて、残飯が随分減ってきた学校もありました。「子どもたちから『おいしかった』と言われることがうれしい」と給食調理員の皆さんは笑顔を見せます。

給食時間の放送で、その日の給食に使われている地元産の食材を紹介する学校もあり、農家の皆さんが丹精込めて育てた野菜であることを知ってもらい、子どもたちにも感謝の気持ちを育んでほしいという思いが伝わってきました。

## 生産者

Agricultural Producer



今西 圭一さん(結馬)

3年前から農協を通じて、学校給食の食材を提供しています。いつ種をまけば、いつごろ収穫できるかを研究しながら、最近では計画的に作付できるようになりました。

子どもたちには、新鮮で安全な地元産の食材を食べてもらいたいと思っています。大変ですがやりがいがあります。



淵矢 美壽代さん(赤目町檀)

錦生赤目小学校へ野菜を届けています。天候で野菜の生育が変わるので、給食の日までに、間に合うかどうかいつもドキドキしています。

5月に、1年生がえんどう豆の皮むきをするそうで、その時は、がくを付けたままのえんどう豆を届けます。食材本来の姿を知る機会は大変なことだと思います。



杉森 善恵さん(大屋戸)

子どもたちに、新鮮でおいしい旬の野菜を食べてもらいたいと、20年前から梅が丘小学校に食材を届けています。「新鮮な旬の野菜って、こんなに甘いものなんだ」と、給食を通じて、野菜本来の味を知ってもらいたいです。

地元の野菜を食べて成長する子どもたちの姿を見ることを楽しみにしています。



澤野 文三さん すづへんさん(美旗中村)

美旗小学校に、キャベツ、葉ねぎ、大根などを届けています。朝に収穫した新鮮な野菜を、8時すぎに学校に運んでいます。

虫退治や、調理しやすい食材の形や大きさを揃えるのも大変です。子どもたちが食べるので、安全な野菜作りに心掛け、楽しみながら作っています。

**保健センター(朝日町)での親子すくすく行事**

☎ 健康支援室 ☎ 63-6970

<b>1歳6か月児健診</b>	<b>3歳6か月児健診</b>
● 25年8月生 3月3日☎・10日☎	● 23年9月生 3月17日☎・24日☎
● 25年9月生 4月7日☎・14日☎	● 23年10月生 4月21日☎・28日☎

**生後9か月～18か月ごろの離乳食教室**  
3月4日☎ 午後2時～3時30分 ※要予約  
★ 乳幼児健康相談(同日 午前9時30分～11時受付)

**安心育児・おっぱい教室**  
3月6日☎ 午前10時～・27日☎ 午後1時30分～

**アドバンスコープ ADSホール 催物**

☎ 64-3478

- **陽だまりコンサート** ◎入場無料  
日時 3月1日☎ 午後1時30分～4時  
☎ 名張育成会 ☎ 65-0271
- **第5回名張子ども伝統芸能祭り** ◎入場無料  
日時 3月14日☎ 午後1時30分～4時30分  
☎ 文化生涯学習室 ☎ 63-7892
- **名張公民館まつり発表会** ◎入場無料  
日時 3月15日☎ 午後1時～5時  
☎ 名張公民館 ☎ 64-2605
- **Stage Concert Vol.22**  
～スペシャル ステージ コンサート～  
**谷本 綾香・松尾 久美 デュオコンサート**  
日時 3月21日☎ 午後7時～8時  
入場料 2,000円 ※50席限定(自由席)  
☎ アドバンスコープADSホール ☎ 64-3478

**なせ宿 催し**

☎ 旧細川邸 やなせ宿 ☎ 62-7760 月曜休館

**「おひな様 in やなせ宿」を3月4日迄まで開催**

時間 午前9時～午後5時(最終日は正午まで)  
内容 段飾り、古雛など  
いろいろなおひな様の展示 ◎入場無料

**国津の杜の行事**

☎ はぐくみ工房あらざ ☎ 62-6920

■ **コーンスターチ粘土教室** 五月節句の  
デディバアと花ショウブを作りましょう。

日時 3月10日☎ 午前9時30分～正午  
講師 武田 裕子さん 定員 10人  
参加費 1,000円(材料費含む)  
持ち物 エプロン、タオル  
申込 2月16日☎から27日☎までに、電話  
で問い合わせ先へ  
※先着順。参加者が少ない場合は中止

## 市民広報特派員レポート 「バリっ子給食を考える！」

バリっ子給食が始まり10年。学校給食を通じて、食育や地産地消の広がりを検証するため、各分野の現場の声を取材しました。



JA 伊賀南部 営農部指導販売課  
調査役 松下 謙志 さん

### 地元産の安全でおいしい食料を子どもたちへ

市内の小学校は、同じ献立ですので、各学校から同じ日に、同じ食材の注文が入ってきます。また、献立にある食材が、天候などにより生育がずれることがあります。

こうした状況ですが、子どもたちに、地元産の安全で安心なおいしい食材をこれからも届けるため、安定的に供給できる栽培体系を整えていきたいです。



教育委員会 学務管理室  
管理栄養士 岡野 直美 主査

### 給食は、食育を通じて豊かな人間性を育む場

子どもの食生活をめぐる問題が大きくなる中、学校給食が子どもの食育を進めていく場として大きな役割を担っていると考えています。食は、生涯にわたって健康やかな心身と豊かな人間性を育む基礎になります。

そうした給食の意義を踏まえながら、毎年、給食担当の先生や給食調理員らとともに、学校給食の

年間計画を作成。その中で、バリっ子給食や行事食、旬の食材を使った献立を考え、地産地消を推進しています。平成15年4月から伊賀米コシヒカリ(名張産)の使用や、平成17年4月からは、月1回のバリっ子給食をスタートしました(現在は、基本月2回実施しています)。こうした取組みで、今まで以上に学校給食に地元産食材を取り入れることを意識するようになりました。

バリっ子給食には、子どもに名張の地産産物の旬とおいしさを伝える大切な役割があります。同時に、給食を通じて、子どもたちが大きくなったとき、きちんとした食生活が送れるよう、「食」の大切さを伝えていきたいです。今後も地元産食材を使用することで、おいしく安全安心な学校給食を提供していきたいです。

### 市民広報特派員 小田さんの視点



今回取材して分かったことは、「誰もが子どもたちのため」に仕事をされているということです。今後のよりよい方向性が見えてきました。

学校給食は「学校給食法第2条(学校給食の目標)」に明記されているように、義務教育諸学校において、人としての基本を学ぶとともに、生きる力を育てるものだと思います。

その立場から「名張の宝」子どもたちのために、地元産食材を活用したバリっ子給食を積極的に進めることで、子どもたちが地域の特産品や名張の旬を知ることにつながるのではないのでしょうか。また、各校に栄養教諭、栄養職員が配置されると食育がさらに充実し、ふるさと名張への愛着が

深まると思います。そして地産地消が広がり、食育が深まれば、名張の「農業」をどう育てていくか、どう支えていくかにもつながっていきます。

このバリっ子給食をさらに広げていただくとともに、毎日、各校で独自性のある名張産の食材を利用した給食になるように取り組んでまいります。

「名張に住む子どもたちにはこんなにおいしい地元産の安全安心の食材を利用した自慢の給食がある」と内外に発信できるようになってほしいですね。そして、地域の生産者、給食調理員、栄養教諭・栄養職員がもっと交流できる場や時間を作ると、さらに魅力的な学校給食が実現できると思います。

次号予告  
名張市雇用創造協議会

川上 徹也氏のキャッチコピー力など「言葉力」を高める講座を開催

日時 2月24日、3月3日・10日・17日 午後1時～5時 全て火曜日  
場所 産業振興センターアスピア(南町)  
講師 川上 徹也さん(作家、コピーライター、湘南ストリートブランディング研究所代表)  
受講条件 市内で就職・転職・起業を目指している人 ※4回連続受講が基本  
◎受講無料。申込方法など詳しくは、問い合わせ先へ

雇用創造協議会(産業部内) ☎63-2143

「第60回『耳の日』講演会と無料医療相談会」を開催

日時 3月1日 午前11時～午後1時  
場所 総合福祉センターふれあい(丸之内)  
内容 ▼講演会(午前11時～正午)  
演題 「きこえとめまいの話」  
講師 竹内 万彦さん(三重大学耳鼻咽喉科教授)  
▼無料医療相談(正午～午後1時)  
簡易聴力検査、耳鼻咽喉科医による耳と聴力の相談、補聴器相談など  
◎参加無料。申込不要  
主催 日本耳鼻咽喉科学会三重県地方部会  
三重大学耳鼻咽喉科 ☎059-231-5028

「作ってランチ・笑顔で交流～多文化共生の集い～」参加者募集

日時 3月22日 午前10時～午後1時30分  
場所 武道交流館いきいき(蔵持町里)  
内容 インドネシアのカレー、ブラジルのパステウをみんなで作ってランチタイムを楽しみます。  
定員 30人程度  
参加費 100円 ※小学生未満は無料  
申込 3月15日までに、電話で問い合わせ先へ  
市民活動支援センター(月曜休館、祝日の場合は翌日休館) ☎63-5325

「折り紙で作るひな人形&みたらし団子づくり」参加者募集

日時 3月1日 午前9時30分～正午  
場所 武道交流館いきいき(蔵持町里)  
対象 市内在住の人 ※小学生以下は保護者同伴  
定員 30人 ※申込多数の場合は抽選  
参加費 300円 ※当日徴収。3歳未満無料  
申込 2月21日までに、参加者の氏名、年齢、性別、住所、電話番号を書いて、ファクス(65-5288)か、はがきで市民活動支援センター(〒518-0775 希中央5-19)へ  
世代間交流事業実行委員会(竹岡) ☎090-1236-1523

公立保育所・幼稚園の臨時職員を募集

業務内容 ▼入所児童に関する保育業務(担任・障害児対応など) 就業時間 午前8時30分～午後5時15分のうち7.5時間 時給 1,100円～1,300円  
▼保育補助業務(朝・夕パート) 就業時間 午前8時～10時15分、午後4時以降のうち1～2時間 時給 1,080円  
▼幼稚園業務 就業時間 午前8時30分～午後4時のうち6時間 時給 1,100円～1,300円  
雇用期間 4月1日～平成28年3月31日  
◎いずれも資格・免許が必要です。応募方法など詳しくは、市ホームページまたは、市役所1階保育幼稚園室へご確認ください。

保育幼稚園室 ☎63-7919

「第5回 名張子ども伝統芸能祭り」を開催 ◎入場無料

「観阿弥創生の地」名張で、伝統文化の伝承や発展のために活動している子どもたちの発表会  
日時 3月14日 午後1時30分～4時30分  
場所 アドバンスコープADSホール(松崎町)  
出演団体 ▼名張音頭保存会 こどもの部 ▼名張子ども狂言の会 ▼名張こども能楽囃子教室 ▼名張雅楽の会 名張こども雅楽教室 ▼伝統文化こども舞踊教室(名張・緑が丘・つつじが丘教室)  
文化生涯学習室 ☎63-7892

確定申告会場の待合状況(2月16日)から3月16日(月まで)が分かります

確定申告会場の待合状況を携帯電話で確認できます。次のQRコードをバーコードリーダーで読み取ってご利用ください。  
混雑状況によって、数時間お待ちいただくこともございますのでご了承ください。  
また、確定申告、市民税・県民税申告会場の詳しい内容については、市ホームページもしくは広報なばり1-3号をご覧ください。  
課税室 ☎63-7429

年金 通信

国民年金保険料の納付は口座振替が便利です。

平成27年度の国民年金の保険料は、月額15,590円(平成27年4月分～)

- ★1年度分保険料を納付書で月々現金納付すると…15,590円×12ヵ月=187,080円
  - ★2年度分(4月分～翌々年3月分)の保険料を口座振替で前納すると…366,840円(2年間で15,360円の割引) ※4月末に一括で引き落とします。平成28年度保険料を月額16,260円として割引額を計算しています。
  - ★1年度分(4月分～翌年3月分)の保険料を口座振替で前納すると…183,160円(年間3,920円の割引) ※4月末に一括で引き落とします。
  - ★6ヵ月分(4～9月分、10月～翌年3月分)の保険料を口座振替で前納すると…6ヵ月分の保険料が92,480円(6ヵ月で1,060円割引、年間で2,120円の割引) ※4～9月分は4月末・10～3月分は10月末に一括で引き落とします。
  - ★口座振替の毎月振替(早割)で納付すると…初回のみ2ヵ月分を引き落とし、50円割引となります。次回からは、毎月の保険料から50円割引となります。
- 口座振替の申込 前納は、①1年度分、2年度分および上期6ヵ月分(4～9月分)は2月まで ②下期6ヵ月分(10月分～翌年3月分)は8月末までに、お早めに年金事務所か、金融機関(郵便局含む)に申し込んでください。 津年金事務所 ☎059-228-9188

年金相談

日時 3月10日(火)・24日(火) 午前10時～午後3時(受付は午後2時45分まで)  
場所 産業振興センターアスピア(南町) 保険年金室 ☎63-7445

広告

広告を募集中です

広告料 25,000円/回(結合枠50,000円) ※税込み

「広報なばり」に広告を掲載しませんか。 毎号約36,000部発行。市内の各世帯にお届けしています。 広告掲載について詳しくは、広報対話室(☎63-7402)へお問い合わせください。

広告

ハウスクリーニング キッチン、バス、トイレ、ガラスサッシ、レンジフード、床フローリングワックス  
エアコンクリーニング 家庭用/業務用  
家事代行 おてつだいサービス 家事を時間単位で承ります 洗濯・片付け・花の水やり・お掃除ほか  
定期清掃管理 病院・介護施設 店舗・事務所・工場 ほか  
害虫駆除シロアリ 床下 無料診断 ゴキブリ、ハチねずみ他  
庭木管理 消毒/肥料/剪定/造園他 トータルグリーン定期管理システム  
安心と信頼の地元 ☎65-8411 esprit@shore.ocn.ne.jp  
タスキん エスプリ ISO14001認証 名張市新田1249-4

「赤目長坂梅林で花見を楽しもう！」 日時 2月22日(日) 午前9時～正午 ※雨天の場合、日時変更。梅の開花状況で、開催日が前後することもあります。 集合場所 赤目公民館 花見場所 赤目長坂梅林 ◎参加無料。詳しくは、問い合わせ先へ 赤目公民館 ☎63-0330